

野部工学院大 教授を講師に

設備女子会が
講演・交流会

建築設備技術者協会
(JABMEE)の「設
備女子会」(設女会、徳
弘洋子会長)は17日、東
京都新宿区の工学院大学
新宿キャンパスで講演会



と交流会を開いた。写
真。講演会の開催は2回

目で、同協会の副会長を
務める野部達夫工学院大
建築学部教授が「建築設
備を文化にしよう」をテ
ーマに講演した。

設計事務所やゼネコ
ン、設備工事会社などで
活躍する女性約120人
が参加。講演会では、野
部教授が「設備萌え」を
感じる事例などを紹介し

たほか、設女会運営委員
会の上田早紀幹事が昨年
4月に会員を対象に実施
した「設備女子の働き方
に関するアンケート」の
集計結果を報告した。

講演会後には9回目と
なる交流会も行われ、参
加者同士で職場での悩み
や家庭と仕事の両立など
について意見を交わしな

がら親睦を深めた。

設女会は13年11月18日
の「建築設備士の日」に
発足した。女性技術者が
情報交換・発信を行い、
活躍の場を広げることで
社会に一層貢献していく
ことが目的で、2月現在、
400人以上が参加して
いる。

JABMEE

新たな常識生み出す 設備女子会が講演会



建築設備技術者協会（JABMEE）の設備女子会は17

日、東京都新宿区の工学院大
学で同大の野部達夫教授を招
き、講演会「建築設備を文化
にしよう」を開いた。写真。

女性を中心に約120人が参
加した。

野部教授は現状の建築設備
について「建築設備の技術は
向上普及し、すでに飽和状態
であるにもかかわらず教科書
は以前と変わっていない。こ

れまでの教科書や常識ではな
く、現実に基づく思考で創意
工夫する必要がある」との考
えを示した。その上で、新た
な常識を生み出す存在として

の女性への期待を語り、「個
人の幸せ、組織の幸せ、社会の
幸せを実現するために女性の
皆さんに頑張ってもらいた
い」とエールを送った。

続いて、設備女子会運営委
員会の上田早紀幹事が設備女
子の働き方に関するアンケー
ト結果を紹介し、全体の75%
が仕事と家庭の両立について
不安を感じていることを報告
した。



建設通信新聞

2016年02月25日 014面 01版 No.04